

こだわりと洞察力



法学部長

かない
金井
たかじ
貴嗣

卒業生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。

皆さん、卒業を機に、自分の人生
を振り返ってみるとともに、これか
らの自分の人生を考えてみませんか。
これまで、楽しいこともあれば、つ
らい思いをしたこともあったことと
思います。大学に入ってみると、中
学・高校とちがつて、自由な時間が
たくさんあることに、とまどいなが
らも、自分のみつめる時間ができ、
これから何がしたいか、何ができ
るか、を考えるようになって。しかし、
いざ、考えてみると、今、日本の社
会や日本を取り巻く国際社会が変わ
りつつあることに気がついて。自分
が、いかに世の中のことについて知ら
なかったかを自覚しながら。それでも
いつまでも親の脛をかじるわけにい

かないから、生活の糧となる仕事に
つかなければと。さりとて、何でも
いいわけではなく、「生きがい」を
感じられる仕事を、と思い悩んだに
違いありません。

これから社会に出て、仕事をして
みると、「稼ぐ」ということがいか
にたいへんなことか、実感すること
でしょう。また、世の中、いい人も
いれば、いやなやつもいます。これ
から、いくつも壁にぶち当たります。
それらの壁を突き破ることができ
かどうかは、皆さんの、社会を洞察
する力と、何を大切に生きてゆきた
いかの「こだわり」の強さだと思
います。これらの洞察力と「こだわり」は、
皆さんが、大学を卒業してから、生
涯、行うであろう「学」「問」によつ
て養われ強くなってゆきます。